

Slide Voice Maker 憲法

バージョン: 1.0.0
日付: 2026-1-5
リポジトリ: https://github.com/J1921604/Slide-Voice-Maker_standalone

コア原則

I. テスト駆動開発 (必須)

テスト駆動開発 (TDD) を徹底し、仕様に対する検証を必須とする。

ルール:

- テスト作成 → テスト失敗確認 → 実装 → テスト成功確認 のサイクルを厳守する
- Red-Green-Refactor サイクルに従う
- 仕様変更時は必ずテストを先に更新する
- 統合テスト: ライブリヤ契約、サービス間通信、共有スキーマに対して実施する

根拠: テストファーストにより、仕様と実装の乖離を防ぎ、リファクタリング時の安全性を確保する。

II. セキュリティ最優先

セキュリティ要件を機能要件より優先する。

ルール:

- 機密データの平文保存を禁止し、暗号化またはハッシュ化を必須とする
- 認証・認可処理は標準ライブラリまたは実績あるフレームワークを使用する
- 外部入力は必ずバリデーションとセニタイズを行う
- セキュリティイベントはすべてログに記録する

根拠: セキュリティ脆弱性は後から修正するコストが高く、ユーザーの信頼を損なう。

III. パフォーマンス基準

パフォーマンス閾値を定量化し、受入基準に組み込む。

ルール:

- メモリ使用量: 処理対象PDFサイズの5倍以内に抑える
- 出力ファイルサイズ: 元PDF+音声の2倍以内を目安とする
- パフォーマンス劣化は受入基準で検出する

根拠: 定量的な基準により、パフォーマンス問題を早期発見し、ユーザー体験を維持する。

IV. 品質と一貫性

コード品質とユーザー体験の一貫性を維持する。

ルール:

- 文字エンコーディングはUTF-8を標準とし、文字化け対策を徹底する
- 外部依存はバージョン固定 (requirements.txt) により再現性を確保する
- エラーメッセージは日本語で明確に、解決策を示す
- ドキュメントから英語テンプレート部分を確実に削除する

根拠: 一貫した品質基準により、保守性と信頼性を確保する。

V. シンプルさの追求

シンプルな設計を優先し、複雑さを正当化する。

ルール:

- YAGNI (You Aren't Gonna Need It) 原則に従う
- 複雑なパターンの導入には明確な理由を文書化する
- 既存コードの重複削除より、明確性を優先する

根拠: シンプルな設計は理解しやすく、バグが少なく、保守が容易である。

制約事項

セキュリティ制約

- 機密データの平文保存を禁止 (暗号化・ハッシュ化必須)
- APIキー・認証情報はコードに埋め込まず環境変数を使用する
- 外部通信はHTTPSを必須とする

依存関係制約

- 外部依存はCDN経由で提供し再現性を確保する
- プラウザ環境で動作するライブラリを使用する
- 新規依存追加時は互換性を確認する

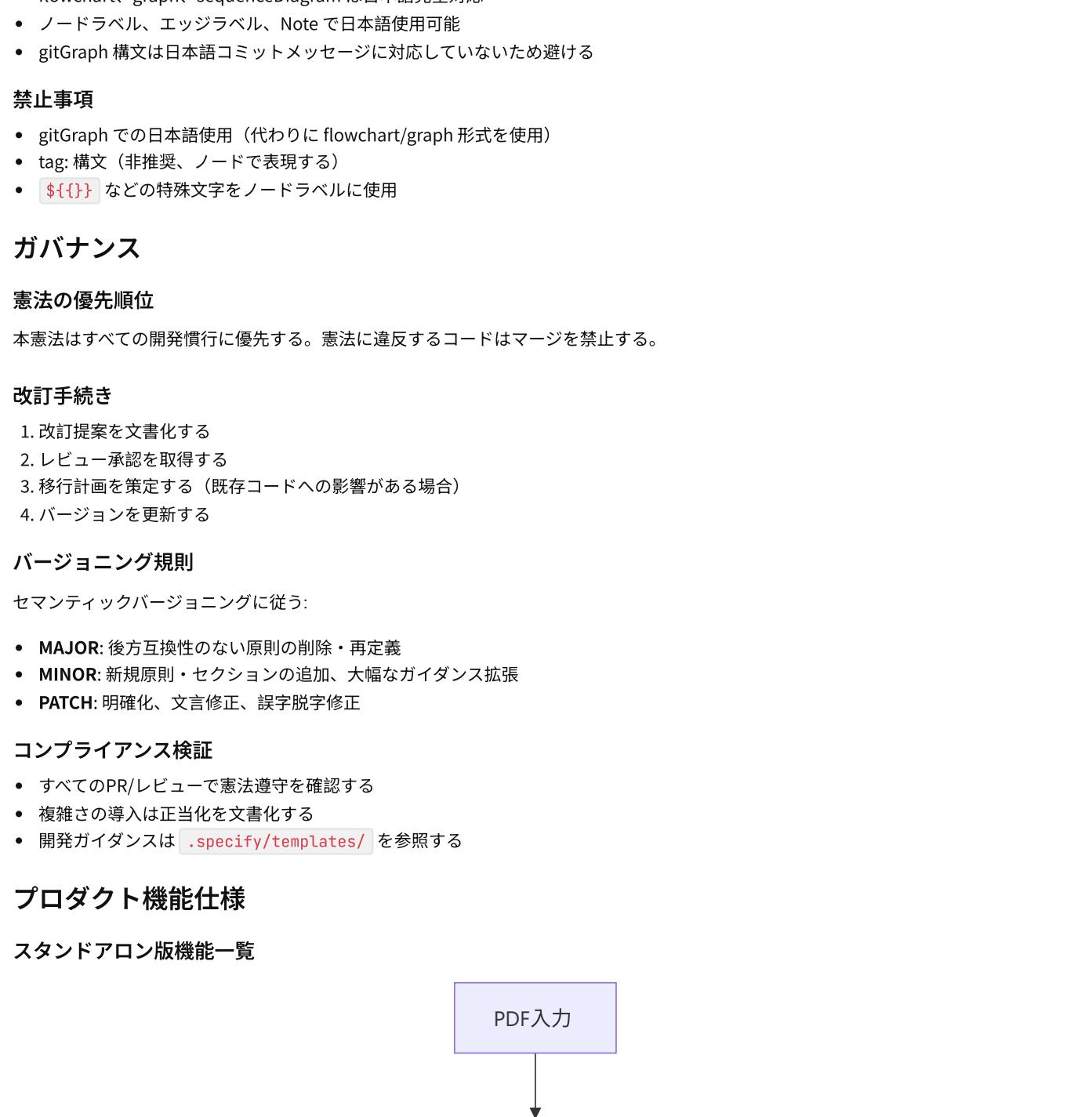
品質制約

- 仕様と実装の乖離をレビューで検知・是正する
- すべてのファイルはUTF-8エンコーディングで保存する
- ログ出力は構造化し、デバッグ可能性を確保する

開発ワークフロー

作業順序

以下の順序で作業を進める (遵守必須) :



検証サイクル

- 正常に動作するまで繰り返し検証しエラー修正を完了する
- 簡略化による品質低下は許容しない

レビュー要件

- 重大変更にはレビュー承認を必須とする
- 憲法違反の検出時は修正を優先する
- セキュリティ関連の変更は追加レビューを行う

プランチ戦略

仕様と実装はプランチ (spec/impl) で分離する。

仕様プランチ (mainプランチから派生)



プランチフロー



Mermaid図ガイドライン

ドキュメントにはMermaid v11準拠の図を挿入する。

推奨構文

用途	推奨構文
プランチ戦略	flowchart TB + subgraph
プロセスフロー	flowchart TD/LR
時系列	sequenceDiagram
状態遷移	stateDiagram-v2

日本語対応

- flowchart、graph、sequenceDiagram は日本語完全対応
- ノードラベル、エッジラベル、Note で日本語使用可能
- gitGraph 構文は日本語コミットメッセージに対応していないため避ける

禁止項目

- gitGraph での日本語使用 (代わりに flowchart/graph 形式を使用)
- tag: 構文 (非推奨、ノードで表現する)
- \$(%) などの特殊文字をノードラベルに使用

ガバナンス

憲法の優先順位

本憲法はすべての開発慣行に優先する。憲法に違反するコードはマージを禁止する。

改訂手続き

セマンティックバージョニングに従う:

- MAJOR: 後方互換性のない原則の削除・再定義
- MINOR: 新規原則・セクションの追加、大幅なガイダンス拡張
- PATCH: 明確化、文言修正、誤字脱字修正

コンプライアンス検証

すべてのPR/レビューで憲法遵守を確認する

複雑さの導入は正当化を文書化する

開発ガイドラインは [spec/templates/](#) を参照する

プロダクト機能仕様

スタンダードアロン版機能一覧

実装プランチ (仕様プランチから派生)

マージ

日本語対応

- 正常に動作するまで繰り返し検証しエラー修正を完了する
- 簡略化による品質低下は許容しない

レビュー要件

- 重大変更にはレビュー承認を必須とする
- 憲法違反の検出時は修正を優先する
- セキュリティ関連の変更は追加レビューを行う

マージ

禁止項目

- gitGraph での日本語使用 (代わりに flowchart/graph 形式を使用)
- tag: 構文 (非推奨、ノードで表現する)
- \$(%) などの特殊文字をノードラベルに使用

ガバナンス

憲法の優先順位

本憲法はすべての開発慣行に優先する。憲法に違反するコードはマージを禁止する。

改訂手続き

セマンティックバージョニングに従う:

- MAJOR: 後方互換性のない原則の削除・再定義
- MINOR: 新規原則・セクションの追加、大幅なガイダンス拡張
- PATCH: 明確化、文言修正、誤字脱字修正

コンプライアンス検証

すべてのPR/レビューで憲法遵守を確認する

複雑さの導入は正当化を文書化する

開発ガイドラインは [spec/templates/](#) を参照する

プロダクト機能仕様

スタンダードアロン版機能一覧

実装プランチ (仕様プランチから派生)

マージ

日本語対応

- 正常に動作するまで繰り返し検証しエラー修正を完了する
- 簡略化による品質低下は許容しない

レビュー要件

- 重大変更にはレビュー承認を必須とする
- 憲法違反の検出時は修正を優先する
- セキュリティ関連の変更は追加レビューを行う

マージ

禁止項目

- gitGraph での日本語使用 (代わりに flowchart/graph 形式を使用)
- tag: 構文 (非推奨、ノードで表現する)
- \$(%) などの特殊文字をノードラベルに使用

ガバナンス

憲法の優先順位

本憲法はすべての開発慣行に優先する。憲法に違反するコードはマージを禁止する。

改訂手続き

セマンティックバージョニングに従う:

- MAJOR: 後方互換性のない原則の削除・再定義
- MINOR: 新規原則・セクションの追加、大幅なガイダンス拡張
- PATCH: 明確化、文言修正、誤字脱字修正

コンプライアンス検証

すべてのPR/レビューで憲法遵守を確認する

複雑さの導入は正当化を文書化する

開発ガイドラインは [spec/templates/](#) を参照する

プロダクト機能仕様

スタンダードアロン版機能一覧

実装プランチ (仕様プランチから派生)

マージ

日本語対